



ひ か り 結 ぶ ま ち

かみや 景観れぽーと

あなたの好きな風景

VOL.11

発行日：平成15年3月20日

発行：刈谷市都市計画課

TEL (0566) 62-1022



今回のれぽーとは、
第10号の「あなたの好きな風景」で募集した結果をご紹介します。
市内で好きな風景として、最もお便りの多かったのは、
表紙中央のミササガパークでした。
四季の移り変わりを彩るさまざまな木々や
草花を楽しめる場所として、人気集中しました。

第10号
アンケート結果

- 1.みんなが好きな
刈谷の風景
- 2.刈谷の景観を
良くするためには

1. みんなが好きな刈谷の風景

公園の風景



ミササガパーク

公園を選んだ人の理由の多くは、「心が和む」あるいは「安らぐ、癒される」ということでした。特に、ミササガパークや亀城公園、洲原公園は、「花が咲く春や、紅葉の美しい秋などの季節の変化が楽しめる場所である」という意見もあり、公園は街なかのオアシスとしての役割を担っているようです。

田園の風景



依佐美の鉄塔跡地周辺の田園

田園風景を選んだ人の多くが、依佐美の鉄塔跡地周辺や小畑江町周辺に広がる市南部の田園風景をあげていました。その理由としては、「のどかな広々とした雰囲気」、「懐かしさ」、「自然を感じる」という意見でした。また、なかには「散歩やジョギングコース」として、田んぼのあぜ道等を利用している時に「心が癒される」という意見もありました。

表紙の風景（写真）

上段左から、平成小学校、亀城公園
中央、ミササガパーク
下段左から、榎の木屋敷跡、逢瀬川緑地

公共施設のある風景



刈谷市郷土資料館

大きく育った木々の合間から見える歴史的な建物である郷土資料館と、その周囲のレンガ塀がかもし出している威厳と落ち着いた雰囲気が好きという意見がありました。

水辺の風景



洲原池（洲原公園）

市民の憩いの場所として利用されている洲原池は、公園の緑と池の水が心を癒してくれる空間として人気がありました。

通りの風景



万燈通り

万燈通りは、市を代表する「万燈祭」をイメージして整備された通りで、おしゃれな街灯や舗装が市民に親しまれています。

2. 刈谷の景観を良くするためには

市民が行えること

景観形成を進めていく上で、市民の皆さんが行えることをお尋ねしました。

最も多かった意見は、「清掃活動」や「緑化」等、家の周りで行うことができるちょっとした取組みでした。中には、景観形成に関する協定の制定等、積極的な意見もありました。

●清掃活動

家のまわりを清掃する

●ゴミ出しの管理等

犬の糞やゴミを放置しない
たばこのポイ捨てをしない

●緑化

道路に面して植木や花を植える
町内で特色ある樹木を選び、各家庭で植樹する

●協定や規則、取り決め等の制定

広告看板のデザイン化等を行う
美観推進路線を設定し景観形成に取り組む
建築協定等、まちづくりのルールをつくる

●各種運動等の推進

美化活動を推進する
工場等の緑化や美化を呼びかける

●その他、意識改革等

路上駐車をしない
道路、公園等の公共空間を住民で管理する



市に行ってほしいこと

景観形成を進めていく上で、刈谷市に行ってほしいことをお尋ねしました。

「公共空間における緑化」や「公園・道路の整備」が最も多く、まちなかでの憩いの場や癒しの空間等、自然環境と調和したまちづくりが求められているようです。

●公共空間における緑化等

街路樹の充実、管理
道路、河川堤防の草刈り

●公園や道路の整備

樹木の多い公園の整備
自転車道・散歩道の整備
歩道の広い道路づくり

●ゴミ処理

川の浄化（河川沿いのゴミ清掃）
ゴミの不法投棄の抑制
地域住民への清掃の意識づけ

●各種条例等の制定

街並み景観賞等の制定
屋外広告物の規制、誘導
景観形成（緑化等）に対する助成

●その他

田園風景の保全・自然と調和したまちづくり
電線類の地中化
市民の取組みへの支援



これらの意見を見ると、「緑化の推進」や「清掃活動の実施」、「景観形成に向けた規制・助成制度等の制定」等、共通した事柄が多いことに気づきます。

今後、魅力ある景観形成に向けて皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

こんなところが好き



前田幸洋さん
(岡町)

前田さんが好きな刈谷の風景は、「田園風景」とのことですが、どのようなところが好きなんですか？

青々とした稲が春風になびいている姿や、収穫期の黄金色に輝く稲穂など、季節の移り変わりが感じられる風景が好きです。また、コスモスやヒマワリなどが広い田んぼや畑の一面に広がる景色も大好きな風景の一つです。

アンケートの中で「自分の住む町をなんじゃもんじゃの里にしたい」と書かれています。

自分の住む地域を特色のある町にしたいと思い、2、3年前から、なんじゃもんじゃの木（ヒトツバタゴ）を自分の庭に植えつつ、近所の人たちにも、その植木を配っています。現在、8件ほどのお宅に植えていただけており、5月の市原神社の祭りの時期には、雪が積もったような美しい白い花が、あちこちの庭先で咲いているのを見ることが出来ます。

これからも、なんじゃもんじゃの木を通じて、地域の風景づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

風景づくりや、まちづくりに欠かせないこ

とは何だと思ひますか？

「地域の人がどうやってやる気を持ってもらうか」だと思います。そのためには、地域の中で多くの人々が目を向けてくれる取組みを継続的にやっていくことが必要だと思います。そうして、少しでも目を向けてくれた人を活動の仲間にしていくことが必要です。

また、真剣に取り組むのではなく、「遊び」ながら取り組むことが大切だと思います。楽しく、長く続けていくことが風景づくりやまちづくりには必要だと思います。

これから、どのような取組みを行っていくと考えていますか？

これまでの日本の庭は借景を基本としてきましたが、最近のガーデニングなどに見られるように、通りを歩く人に対して見せる庭である「貸景」になりつつあると思ひます。これからは、通りを歩く人が楽しめる地域づくりを行ってきたいと思ひます。



なんじゃもんじゃの木

第1号から10号を振り返って



「かりや景観ればと」は、創刊号から数えて今回が11号目に当たります。当初は市内の魅力的な場所として、公園や橋梁等の公共空間を紹介しましたが、第3号以降では、工場や住宅等のまちなみの景観を取り上げ、さらに第6号からは、「実践編」として景観形成の事例を数多く掲載しながら、実際の取組みを紹介してきました。

まちなみの景観を構成するものの中には、皆さんの住宅の外壁や屋根、庭の緑、塀等、道路から見える空間があり、この空間の良し悪しが、まちなみの景観を大きく左右しているといえます。

「実践編」では、この空間における景観形成の事例を多数紹介していますので、ぜひご覧ください。

『かりや景観ればと』 を読んで…



かなだくみ
金田久美さん
(中千町)

■「かりや景観ればと」をよくお読みいただいているとのことですが、掲載内容などについてどのように思われますか？

●私は、街なかに掲げられている看板の色彩や形状等のデザインに大変興味があったので、以前、「かりや景観ればと」に屋外広告物の特集があったときは、特に楽しんで読ませていただきました。その他の号も写真を多く用いていて、大変見やすく興味を湧かせるような内容になっている点が良いと思います。しかし、写真による事例紹介を行う場合、対象物をクローズアップしすぎて、周囲のまちなみの中での調和という点が分かりづらくなっていることがあるので、そうしたことを注意して掲載すると、もっと分りやすくなるのではない

でしょうか。

■これからの「かりや景観ればと」に期待することはありますか？また、自分でやってみたいと思う景観づくりはありますか？

●例えば、「こういう取組みを行えば、こうなる。」というような、具体的な取組み方法を「かりや景観ればと」に示してもらえると、より一層興味を持って見ることができると、実践しやすくなると思います。誰もが「こんな街並みになったらいいなあ」という理想の景色を持っていても、どうしたらよいか分からないと思うんですよ。

私がやってみたいと思う景観づくりは、季節に合った街の飾り付けです。ここ数年、クリスマスになると電飾などで飾り付ける住宅も見かけるようになりました。そういったにぎやかな飾り付けを地域ぐるみで行ったり、季節毎に決まった花を各家庭で育てたり、菜の花やコスモスなどの季節の草花を道端や河川沿いに植栽するなど、街なかで季節の移り変わりが感じられるような取組みをみんなで行ってみたいです。

■最後に、景観づくりについて、市への要望はありますか？

●刈谷市のまちなみ景観には、統一感があまり感じられません。細かな景観形成も大切ですが、市域全体を視野に入れた大きな視点からの景観づくりを進めてほしいと思います。

しかし、刈谷市域は広いので、地区毎で特色のある景観形成を進めていくことが必要なのではないでしょうか。

一方、細部の視点からは、便利かつ快適に使用できる公共施設の整備も景観づくりの一つだと思います。身近なところで言えば、日高公園をもっと特色のある公園として整備してほしいですね。広くて緑の多い公園だとは思いますが、もう一つ魅力が足りないために、利用者が少ないような気がします。例えばハーブガーデンを作ったりして、見て歩いて楽しめるような場所になったら良いと思います。また、何度も通りたくなるような緑が美しい並木道がほしいですね。私は、他の市に行くとき必ず通りたくなる並木道があります。刈谷にはそういう気持ちの良い通りがないですから、ぜひ作ってほしいです。



これからは、みなさんから頂きました、さまざまなご意見やご提案を参考にさせていただきながら、将来残していく景観や新しく作っていく景観など、積極的に景観形成に取り組んでいきたいと思っております。

また皆さんも、「家の周りでの清掃」や「庭の緑化」等、簡単にできるところから景観形成に取り組んでほしいと思います。

なお、今年は景観形成に関するミニ講座を開く予定であり、現在、講義や実践などの内容を検討しています。参加募集等の詳細は広報等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。